

2020年10月5日

トキの野生復帰と、環境に配慮した農業を応援し続けて 10年 323万7,683円を佐渡市へ寄付

コープデリ連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋敏夫、会員生協:関東信越の7生協)は、佐渡市が進める環境に配慮した農業(生物多様性農業)の推進やトキの野生復帰の支援に役立ててもらうための活動『佐渡トキ応援お米プロジェクト』で集まった寄付金323万7683円を、佐渡市に寄付いたしました。同プロジェクト発足からの寄付金額の合計は、10年間で2,615万7,892円となりました。

10月3日(土)、佐渡市新穂青木のほ場にて寄付金贈呈式を執り行いましたのでご報告させていただきます。コープデリグループを代表して、コープにいがたの長谷川理事長とコープクルコの山口理事長が佐渡市の渡辺市長に目録を贈呈しました。



左から、コープにいがた 長谷川聡理事長、コープクルコ 山口栄理事長、佐渡市 渡辺竜五市長

ー 『佐渡トキ応援お米プロジェクト』についてー

「佐渡トキ保護活動」を目的とした連携に関する協定は、2010年4月、佐渡市、コープにいがた、コープネット(当時)の3者で締結して立ち上げたプロジェクトです。宅配サービスと店舗※で販売している「CO・OP産直 新潟佐渡コシヒカリ」(2kg・5kg企画、無洗米もあります)の米1kgにつき1円を、「CO・OP産直 新潟佐渡コシヒカリで作った焼おにぎり」、「CO・OP産直新潟佐渡コシヒカリで作ったごはん」(3パック入り)1点につき1円を「佐渡市トキ環境整備基金」に寄付しております。佐渡の美味しいお米を食べることで、トキと共生する米づくりを支えています。

※コープにいがた、コープクルコに店舗はございません。

2014年に60羽、2018年に220羽のトキ定着の目標を達成するなど、トキの野生復帰が順調に進んでいることを踏まえ、2020年2月、当初の協定書の内容を引き継ぎ、連携協定の主眼を「佐渡トキ保護活動」から「佐渡トキ野生復帰」を目的として、JA 佐渡、コープクルコを加えた5者において、あらためて協定を締結しました。

また『佐渡トキ応援お米プロジェクト』等、連携の取り組みを定めた覚書を、佐渡市、コープデリ連合会、JA 佐渡、JA 全農にいがた、全農パールライス、日本生活協同組合連合会の6者で締結しました。

■寄付に繋がる商品



「CO-OP 産直 新潟佐渡コシヒカリ」



「CO-OP 産直 無洗米 新潟佐渡コシヒカリ」



「CO-OP 産直 新潟佐渡コシヒカリで作った焼おにぎり」



「CO-OP 産直 新潟佐渡コシヒカリで作ったごはん」

新潟佐渡コシヒカリとその加工品は、コープデリの産直商品です。コープの産直は、生産者・生協・組合員がつながり、安全性が確保され、おいしさと環境配慮を兼ね備えた、生い立ちがはっきりわかる農産物をお届けする取り組みです。

■寄付の実績

26,157,892 円(2010 年度～2020 年度)

■『佐渡トキ応援お米プロジェクト』詳細(以下、URL ご参照)

<https://sustainability.coopdeli.coop/four-project-toki.html>



《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13

【理 事 長】 土屋 敏夫

【会員生協】 生活協同組合コープみらい 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5
 いばらきコープ生活協同組合 茨城県小美玉市西郷地 1703
 とちぎコープ生活協同組合 栃木県宇都宮市川田町 858
 生活協同組合コープぐんま 群馬県桐生市相生町 1-111
 生活協同組合コープながの 長野県長野市篠ノ井御幣川 668
 生活協同組合コープいいがた 新潟県新潟市西区山田 2309-7
 生活協同組合コープクルコ 新潟県新潟市西区流通 1-5-3

理事長 新井 ちとせ
 理事長 鶴長 義二
 理事長 中田 和良
 理事長 中村 隆夫
 理事長 太田 栄一
 理事長 長谷川 聡
 理事長 山口 栄

【総事業高】 5,596 億円(会員生協事業高計) ※2019 年度

【組合員数】 510 万人(会員生協組合員計) ※2020 年 9 月 20 日

【ホームページ】 <https://www.coopnet.jp/>